



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化 学 品 の 名 称 : ティッシュ・テック ティッシュ・クリア
製 品 コード : 1473(18L)、1474(4L×4)
供給者の会社名称 : サクラファインテックジャパン株式会社
住 所 : 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
担 当 部 門 : 開発企画部
電 話 番 号 : 03-5643-2629 フリーダイヤル:0120-392-874 FAX番号:03-5643-3382
e - m a i l : general@sakura-finetek.com
一 般 用 途 : 病理組織プロセッシング用中間剤、脱パラフィン及び透徹用溶媒

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分 3
健康に対する有害性 誤えん有害性 区分 1

上記に記載のない分類項目については、区分に該当しない又は分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル: 炎、健康有害性



注 意 喚 起 語 : 危険

危険有害性情報 : [H226] 引火性液体及び蒸気

[H304] 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

安 全 対 策 : [P210] 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

[P233] 容器を密閉しておくこと。

[P240] 容器を接地しアースをとること。

[P241] 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

[P242] 火花を発生させない工具を使用すること。

[P243] 静電気放電に対する措置を講ずること。

[P280] 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応 急 措 置 : [P370/P378] 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。

[P303/P361/P353] 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

[P331] 無理に吐かせないこと。

[P301/P310] 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

保 管 : [P403/P235] 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

[P405] 施錠して保管すること。

廃 棄 : [P501] 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び : 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

化 学 的 危 険 性

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

成分名	化学式	含有量 (w/w%)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
イソアルカン(C=9-12)	C _n H _{2n+2} (n=9-12)	100	2-9; 2-10	表の下に記述	90622-57-4

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

イソアルカン(C=9-12)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

イソアルカン(C=9-12)

4. 応急措置

- 一般的な措置 : 医師の診察/手当てを受ける際は、このSDS、製品容器やラベルを見せること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅延性症状の
最も重要な徴候症状 : (吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)
飲み込み: 気管支炎、浮腫のおそれ
(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)
皮膚: 長時間又は反復接触により皮膚の乾燥、脱脂のおそれ
眼: 眼刺激のおそれ
- 応急措置をする者の保護に必
要な注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 噴流水を消火に用いてはならない。
- 特有の危険有害性 : 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。
蒸気は空気よりも重く、空気と混合すると爆発性のガスになるおそれがある。
蒸気が地面に沿って広がり、着火源に達するとフラッシュバックするおそれがある。
- 特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
風上から消火すること。
- 消火活動を行う者の特別な保
護具及び予防措置 : 防火服又は防災服を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 : 関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
着火源を取除くとともに換気を行う。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
- 二次災害の防止策 : 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : (取扱者のばく露防止)
 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 (火災・爆発の防止)
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 (局所排気、全体換気)
 排気/換気設備を設ける。
 (注意事項)
 皮膚に触れないようにする。
 眼に入らないようにする。
- 安全取扱注意事項 : 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
- 接触回避 : 強酸化性物質との接触を避けること。
- 衛生対策 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
 施錠して保管すること。
 (避けるべき保管条件)
 高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止措置及び保護措置

管理指標

管 理 濃 度	:	データなし	
許 容 濃 度	:	日本産衛学会の許容濃度	データなし
		ACGIH 許容濃度	データなし

ばく露防止

- 設備対策 : 排気/換気設備を設ける。
 洗眼設備を設ける。
 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
- 眼及びまたは顔面の保護具 : 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
 色 : 無色

臭	い	: 無臭 - 微臭
融 点 / 凝 固 点	:	< -50°C
沸 点 又 は 初 留 点	:	176.0 - 194.0°C
お よ び 沸 点 範 囲	:	
可 燃 性	:	引火性
爆発下限界及び爆発	:	爆発下限 : 0.6 vol %
上 限 界 / 可 燃 限 界	:	爆発上限 : 7 vol %
引 火 点	:	56°C
自 然 発 火 点	:	データなし
分 解 温 度	:	データなし
pH	:	データなし
動 粘 性 率	:	1.23 mm ² /s(40°C)
溶 解 度	:	水に対する溶解度 : < 0.1 g/liter (20°C) 溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分	:	データなし
配 係 数 (log 値)	:	
蒸 気 圧	:	0.66 hPa (20°C)
蒸 発 速 度	:	データなし
密度及び/又は相対密	:	0.7584 g/cm ³ (15°C)
度	:	
相 対 ガ ス 密 度	:	データなし
粒 子 特 性	:	適用外

10. 安定性及び反応性

反 応 性	:	データなし
化 学 的 安 定 性	:	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	:	重合暴走反応は生じない。
避 け る べ き 条 件	:	高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
混 触 危 険 物 質	:	強酸化性物質
危険有害な分解生成物	:	炭素酸化物

11. 有害性情報

急 性 毒 性	:	データなし
皮膚腐食性/刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷	:	データなし
性 / 眼 刺 激 性	:	
呼 吸 器 感 作 性	:	データなし
又 は 皮 膚 感 作 性	:	
生殖細胞変異原性	:	データなし
発 が ん 性	:	データなし
生 殖 毒 性	:	データなし
特定標的臓器毒性	:	データなし
(単 回 ば く 露)	:	
特定標的臓器毒性	:	データなし
(反 復 ば く 露)	:	
誤 え ん 有 害 性	:	「40°Cで測定した場合の動粘性率が 20.5 mm ² /s 以下の炭化水素」に該当するため区分1とした。

12. 環境影響情報

生 態 毒 性	:	データなし
残 留 性 ・ 分 解 性	:	データなし
生 体 蓄 積 性	:	データなし
土 壌 中 の 移 動 性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装 : 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国 連 番 号 : 3295
品 名 : 炭化水素類、液体、N.O.S
国 連 分 類 : 3
容 器 等 級 : III
海 洋 汚 染 物 質 : 非該当
特 別 の 安 全 対 策 : データなし
MARPOL73/78 附属書II 及 : 非該当
び IBC コードによるばら積
み輸送される液体物質

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3 関係)
危険物・引火性の物(30℃ ≤ 引火点 < 65℃)
名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2 別表9)
イソアルカン(C=9-12)(9-168)
名称通知危険/有害物(第57条の2、第56条1項)
イソアルカン(C=9-12)(9-168)

化学物質排出把握管 : 非該当
理促進法(PRTR 法)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化 審 法 : 優先評価化学物質
イソアルカン(C=9-12)(政令番号 212 生態影響)

消 防 法 : 危険物
第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III(指定数量 1,000L)

船 舶 安 全 法 : 引火性液体類 分類3

航 空 法 : 引火性液体 分類3

16. その他の情報

引用文献 : Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit, 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62 版(2021 年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252:2019
JIS Z 7253:2019
2020 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

★この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。

卸店: